

第 87 回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 大会実施要項

2020 年 9 月 18 日現在

- 1.大会名称 第 87 回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
・1 次ラウンド
・ファイナルラウンド
- 2.主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
- 3.共催（予定） ≪1 次～ファイナルラウンド≫ 共同通信社
≪1 次～2 次ラウンド≫
北海道新聞社、東奥日報社、デーリー東北新聞社、秋田魁新報社、岩手日報社、
河北新報社、山形新聞社、福島民報社、福島民友新聞社、下野新聞社、茨城新聞社、
上毛新聞社、千葉日報社、埼玉新聞社、東京新聞、神奈川新聞社、山梨日日新聞社、
信濃毎日新聞社、新潟日報社、北日本新聞社、北國新聞社、福井新聞社、
静岡新聞社、岐阜新聞社、中日新聞社、奈良新聞社、京都新聞、神戸新聞社、
産経新聞社、山陽新聞社、中国新聞社、山陰中央新報社、新日本海新聞社、
四国新聞社、愛媛新聞社、徳島新聞社、高知新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、
長崎新聞社、大分合同新聞社、熊本日日新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社、
沖縄タイムス社、琉球新報社
- 4.主管 ≪1 次～ファイナルラウンド≫
公益財団法人日本バスケットボール協会
- 5.協賛（予定） ≪1 次～ファイナルラウンド≫ 株式会社モルテン
≪ファイナルラウンド≫ 未定
- 6.後援（予定） 調整中
- 7.大会方式 トーナメント戦によるノックアウト方式
- 8.競技規則 大会各ラウンドとも開催時における最新のバスケットボール競技規則で実施する。
※現状においては「2020 バスケットボール競技規則（Official Basketball Rules2018）」を
最新とし、プレーヤーが競技中に身につけるものは、原則として日本バスケットボール協会の
「競技規則 第 4 条 4-4 その他の身につけるもの」に準ずる。
- 9.使用球 モルテン B6G5000 を使用する。
- 10.出場チーム 女子総数：20 チーム
≪1 次ラウンド≫
20 チーム 都道府県代表 8 チーム+W リーグ 12 チーム
≪ファイナルラウンド≫
8 チーム 1 次ラウンドで勝利し、ファイナルラウンドに進出した 8 チーム
- 11.大会日程 ≪1 次ラウンド≫ 2020 年 11 月 28 日(土)～11 月 29 日(日)
≪ファイナルラウンド≫ 2020 年 12 月 16 日(水)～20 日(日)
- 12.会場 ≪1 次ラウンド≫ ※3 会場
＜神奈川大会＞ トッケイセキュリティ平塚総合体育館（平塚市）
＜愛知大会＞ スカイホール豊田（豊田市）
＜大阪大会＞ 岸和田市総合体育館（岸和田市）
≪ファイナルラウンド≫
国立代々木競技場 第二体育館（東京都渋谷区）

皇后杯 EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2020

- 13.参加資格
- ① 2020 年度において(公財)日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
 - ② 2020 年度において(公財)日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること。
 - ③ 帰化選手(満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。)及び外国籍選手(基本規程による)の大会登録人数および出場については、チーム編成の項で定める。
- 14.ユニフォーム
- 原則として、組合せ番号が若いチームを淡色とするが、対戦する両チームの話し合いにより決めてよい。ただし、両チームともに淡色を着用することは不可とし、濃色については両者が同系色以外であると大会実施委員会の認定を受けることを条件とする。
- ・ チームは濃色・淡色各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。
 - ・ ユニフォーム以外に身に着けるものは競技規則に準ずる。
- 15.強化奨励金・賞金
- チームには賞金および強化奨励金を支給する。詳細は確定次第通知する。
- 16.組み合わせ
- 《1 次ラウンド》
- ・ 大会実施委員会の責任抽選にて抽選を行い、対戦を確定するものとする。
 - ・ 1 次ラウンドを開催する 3 府県に登録するチームは、各府県で試合が行えるよう特別考慮する。
 - ・ その他のチームは、移動時間や費用負担軽減の観点から、原則チーム所在地の近隣エリアにて試合を行えるよう、JBA 天皇杯・皇后杯実施委員会の責任において会場を決定する。ただし、各会場の出場チーム数には制限があるため、確約するものではない。
- 《ファイナルラウンド》
- ・ 1 次ラウンド終了後に、抽選会を行い、組み合わせを決定する。

※チーム編成等、各ラウンドに関する詳細な実施要項については、別途定める。